

**荒川太郎右衛門地区自然再生協議会**  
**第 8 回 維持管理・環境管理専門委員会 議事録**

●平成 27 年 6 月 25 日（木）9:30～11:20、上尾市文化センター 305

**【議事結果】**

- ハンノキ林整備のための掘削高さは、試験地の現状に対する生態系モニタリング専門委員会の見解を踏まえ、「中段」（平均水位付近の A.P. +9.4m 程度）を基本とする。
- 現状の通路・通路跡の管理者を確認する必要がある。事務局で確認する。
- 通路の整備・管理については、自治体の担当者も一緒に考えた方が良い。
- 通路・看板整備の案は、前回の協議結果を整理したものを当面の基本案とする。
- 中池・下池の間の横堤から下池の川島町が占用しているグラウンドへ降りる坂路の付近にも看板が必要と思われる。
- 維持管理内容は、今の体制で出来ることと将来必要なことは分けて整理したい。委員会で細部の議論は難しいので、個別に議論を進めてそれを委員会に報告して協議するように進める。
- 必要な維持管理作業のほとんどは「除草」である。今できることと将来やることを分けて、今できることは取り組んで行く。
- モトクロス場跡地 D の H23 整備地で委員が試行している管理について、今年度も実施することを了承する。
- 今年度の工事立ち会い者は、堂本委員長・菅間委員とする。
- 体調不良の川村副委員長に替わり、新しく川島委員を副委員長とする。

**【主な議事内容】**

◎報告事項

●委員会の議事録

- ・ 質疑なし。

◎協議事項

●残りの整備（ハンノキ林）について

- ・ ハンノキ林整備のための掘削高さは、試験地の現状に対する生態系モニタリング専門委員会の見解を踏まえ、「中段」（平均水位付近の A.P. +9.4m 程度）を基本とする。
  - 良い実験結果となっている。下段（最低水位付近の A.P. +8.9m 程度）は常時水没しており、ハンノキであっても生育が難しいと考えられる。上段（1.5 回/年発生する水位付近の A.P. +9.8m 程度）は、ハンノキ幼木の生育を阻害する可能性がある他の植物が侵入する可能性が高く、維持管理の労力が大きくなる可能性がある。中段に生育しつつある他の植物は湿生・抽水植物であり、ハンノキの生育を阻害する可能性は低いと考えられる。

●残りの整備（通路・看板）について

- ・ 現状の通路・通路跡の管理者を確認する必要がある。
  - 事務局で確認する。
  - 延命地藏尊の脇の通路は町道であるという話であったが、通行止めとなっている。せめ

て地蔵尊のところまで車で行けるようにして欲しい。

- 通路を整備したあとは、その管理が課題となる。通路管理者が誰かによって、その対応が変わる可能性がある。
- 通路跡は崩れているところもあるが、基本的に現在使える通路を活用して全体を整備する方向とする。
- ・ 中池・下池の間の横堤から下池の川島町が占有しているグラウンドへ降りる坂路の付近にも看板が必要と思われる。
  - 自然再生だけで無く、治水施設としての「横堤」の説明もあると良い。
  - 来年度は荒川改修 100 周年にあたるので、そのような情報もあると良い。
  - グラウンド管理の一環で除草剤を撒いているが、横堤にも撒いているようであり、堤防植生管理の面で問題がある。河川管理者で確認して、必要があれば指導して欲しい。
- ・ 通路の整備・管理については、自治体の担当者も一緒に考えた方が良い。協議会の中では発言しにくい部分もあると思われるので、この委員会で場を設けると良いと思われる。自治体と協力関係を作る上で良い機会にもなると思われる。
  - 道路・公園緑地などの担当と相談すると良い。
  - 川島町の環境基本計画における位置づけを確認して整合した取り組みになると良い。
  - 民地が年々休耕地となっているので、その点についても協議できると良い。
- ・ 自動車で訪問する人への対応はどう考えるのか。
  - 現時点の考え方としては、自動車でどンドン来てもらうことを期待して駐車場を整備するような方向ではない。現状で駐車可能なスペースを活用する程度が基本である。
  - その場合でも、車道（例えば桶川スポーツランドの横など）の凹凸がひどいところは修復した方が良いのではないか。
  - 舗装するとスピードを出す車が増えて危ないので、この状態のままとしているようである。自然再生地の中であることから、このままで良いと思われる。
- ・ 通路・看板整備の案は、ハンノキ整備の予定地付近などの保留部分があるが、前回の協議結果を整理したものを当面の基本案とする。
- ・ 現地確認の時に意見があった、バス停の名称に「太郎右衛門地区自然再生地」を入れてもらうための働きかけを進めたいがどうしたら良いか。
  - 会長から働きかけてもらうのが良い。
  - 今の名称が変わらなくても、かっこ書きで「太郎右衛門地区自然再生地」を加えてもらったり、車内でアナウンスしてもらうなどの協力が得られると良い。

#### ●組織体制の検討に向けた維持管理内容の精査

- ・ 今の体制で出来ることと将来必要なことは分けて整理したい。委員会で細部の議論は難しいので、個別に議論を進めてそれを委員会に報告して協議するように進める。
- ・ 必要な維持管理作業のほとんどは「除草」である。今できることと将来やることを分けて、今できることは取り組んで行く。
- ・ このような作業は無償では続かないので、将来は資金を得ることを考える必要がある。
- ・ モトクロス場跡地 D の H23 整備地で委員が試行している管理について、今年度も実施することを了承する。
- ・ 今年度の工事立ち会い者は、堂本委員長・菅間委員とする。

●その他

- ・ 次回の開催はあらためて事務局から案内する。
- ・ 体調不良の川村副委員長に替わり、新しく川島委員を副委員長とする。

以上